



龍拔兒篤街論

第五編
第四編



414
A1127
7



龍拔兒德街論

第四編

大藏卿が銀市ニ於ケルノ地位ヲ論ス

銀行事務ハ單ナル一商業ノミトハ經濟真理ノ示ス所ニシテ理
 論上此ノ如キ真確ナルノ理アルヲ知ラサルナリ且ヤ商業ノ何
 タルヲ問ハス政府ノ之レニ関涉スルヲアルキハ必ス其ノ商業
 ヲ妨碍ストハ多年經驗ノ示ス所ニシテ其ノ信據スベキハ亦他
 ニ之レニ比類スヘキモノアルヲ見サルナリ故ニ政府ノ銀市ニ
 於ケルヤ一関涉ヲ用サスレテ自カラ反省セシムルヲ以テ最モ
 策ノ得タルモノトハスルナリ

然リトモ此政府ハ其ノ所管ノ金圓ヲ保存セサレヲ得スト云フ
 一ノ箇條ニ注目スルニ於テハ政府ハ一般ニ時リ此ノ関涉主義
 ノミヲ実行スルヲ得ヘシ蓋シ政府ハ時アリテ余儀ナク正金
 ノ大數ヲ保有セザレヲ得ザルノヲアリ即チ政府ノ年々收受ス

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

ニキ歳入全額ハ自他ノ諸會社又ハ一個人ノ収額ニ超ユルモノ
遠ク大キレ此ノ場合ニテハ之レヲ一國中ニ於テ最モ富有ナ
ル會社ナリト云フモ可ナリ然リ而シテ若シ政府ニシテ此ノ大數
金額ヲ一旦或レ一個ノ銀行ニ預托スルニ當リテヤ忽チ該銀行
ノ盛衰ハ政府ノ利害ニ相関繫スルノトナルベシ何トナレバ
公債利子ヲ拂フヘキノ期ニ至リ万一該銀行カ其ノ受托金ノ仕
拂ヲ延滞スルカ如キアラバ政府ハ其ノ利子ヲ仕拂フニ由ナ
カルベク又該銀行或ハ破産等ノ事アルニ於テハ政府ハ其ノ役
員ノ給料又ハ諸入莫ク仕拂フヲ能ハザレベケレハナリ是レヲ
以テ觀ル片ハ近世ノ政府ハ恰モ大數ノ債ヲ負フテ之レヲ没滞
ナク辨償シ能ハサル一個富人ノ如シ故ニ其ノ信用ハ即チ大ニ
其ノ盛衰存セニ関セサルヲ得サルモノナレハ其ノ負債ノ一
仕拂フベキ期限ニ至リテ卒カニ該銀行ノ破産ニ遇フアアラバ

其ノ困難事タル實ニ云フベカラザレモアラベキナリ
或ハ云ハシ此ノ如キノ場合ニ臨ミバ自他ノ銀行者アリテ之レ
ニ代リテ政府ノ會計ヲ引受クルトアルベシト勿論該銀行者ハ
他ノ銀行ノ分産スルニ當リ屢々之レアルカ如クニ尙後政府ノ
會計ヲ引受ケントテ欲望スレカ為メ目下政府ノ希望セル所ノ
モノヲ前借スレトモアルベシ然リト云ハ銀行分産ノ事ハ金融
壅塞ノ極所ニ於テアルヲ常トスレハ此ノ言ノ如キハ其ノ治療
法ノ完全ナルモノニアラザレナリ夫レ恐慌暴発ノ日ニ際シ又
ハ尙上一般信用ノ衰滅スルニ當テ此ノ如キ銀行ヲ索メ得ント
欲スルモ恐ラクハ能ハザレベシ果シテ然ラハ一方ニ在リテハ
政府ノ預托ヲ受ケタレバ銀行ハ其ノ受托ノ金額ヲ返辦スル
能ハザレベク又一方ニ在リテハ未ダ預托ヲ受ケザレ銀行ノ如
キハ恐慌ノ起ルニ際シテハ假令ヒ我カ政府ノ半日ノ費用ニサ

一足ラザルベキモ五百萬或ハ六百萬封度ナル大額ヲ仕辨スル
一能ハサレキヤ必度ナリ此ノ如キ有様ナルカ故ニ若シ大藏
卿カ其ノ金圓ヲ以テ一銀行ニ委託セシエニテ嚴格ニ不関涉
義ヲ執リ以テ何等ノ場合ニテモ銀市ヲシテ自カラ反唇セシム
ヘシト云フアアルモ到底行ハルベカラサレモノニシテ恐慌ノ
起ルカ如キ或ル場合ニハ自カラ之レニ関涉セザルヲ得ス而メ
諸仕拂、如キハ之ヲ差止メザルヲ得サルアアルベシ
故ニ銀行事業ノ幼稚ニシテ未タ發達セザルノ國ニ在リテハ政
府ハ其ノ金圓ヲ自カラ保守スルヲ以テ殊ニ得蒙ナリトス然ラ
ハ則チ安全ヲ見認ムベキ銀行ナクンバ政府ハ決シテ之レニ莫
ノ金圓ヲ依托スヘカラス况ンヤ或ル一銀行ニ特別ノ保護ヲ与
ヘ之レニ政府ノ會計ヲ依托シ以テ自他ノ銀行ヲ差シ置キ獨リ
之レニ特權ヲ附与スルノ有害事タルニ於テオヤ備テ此ノ如キ

時代ニ在リテ大藏官吏ノ巧拙ハ唯ニ其入ラ計テ其出ラ制スル
ニ因ルノミナレハ該官吏ハ其ノ金庫中ニ通常ノ豫備ノ外別ニ
餘剩ノ金圓ヲ貯藏セザラントニ專ラ注意スルコソ緊要ナルベ
シ何トナレハ若シ大藏ノ庫中ニ埋没セル死財財ノ活動セザルモ、活動セザ
高常ニ平素ノ平均金額ニ大過スルヲナクンバ之レヨリ起ル所
ノ損失ハ唯ニ該額ヨリ生スル利子ヲ損スルマデニ止マリ全国
ニ取リテハ實ニ瑣少ノ税額ヲ増スノミナレバ其ノ弊害タルヤ
數フレニダモ足ラザル程ナルベシ蓋シ此ノ瑣々タル弊害ノ如
キハ之レヲ彼ノ無信ノ一銀行ニ委託シテ避ケ難キ歳出ニ必用
ナルノ金圓ヲ失ナヒ又ハ政府ノ信用ヲシテ甘シテ該無信ノ銀
行ト併立セシメ為メ之レニ保護ヲ与ヘ漸ク以テ之レノ預托
シタルノ金圓ヲ収細セントスルニ比スレハ其ノ優レルト遠シ
故ニ銀市ニ安全ノ以テ信據スベキナキノ間ハ一國ノ政府ハ自

カヲ其ノ金匱ヲ保守スルヲ以テ甚タ策ノ得タルモノトスルナ
リ若シ夫レ銀行ニ安全ノ信據スベキナキノ日ニ當リテ一旦政
府ノ之レヲ保護スルヲ如キ等ノ一アラハ是等銀行ハ決シテ
ニ將來ニ於テ其ノ改進ヲ致ス一ヲ得サルノミナラズ却テ益々
退歩ニ趣ムキ其ノ不信ヲ魔クニ至ルベキハ必然ナリ現時無信
ノ銀行ヲ保護スルハ必ス後日信アル良銀行ノ設置ヲ妨碍スレ
モノナリトハ是レ豈ニ不拔ノ確言ナラズヤ
銀行事業ノ漸ク改進ノ途ニ就キ且ツ銀行組成ノ悉ク安全ヲ認
ムベキニ至ラハ政府ハ漸々貸附ケテ始ムルモ可ナリ殊ニ大藏
ノ整頓セル調停ニ於テスラ尚ホ時アリテハ大數ノ金額ヲ使テ
ニ其ノ庫中ニ積蓄スルノ一アルベケレバ此ノ時ニ當リテ始メ
テ之レヲ貸付クルハ敢テ不可ナル一ナリ
銀行事業ノ自然ノ組成ニ就テ論スレハ政府ノ利便特ニ夥シト

ス何トナレハ假令ヘハ此ニ數個ノ銀行下リテ各自ニ其ノ準備
ヲ保守セザルヲ得サモノトセバ各銀行ハ其ノ存亡ト信不信ト
ハ一ニ此ノ準備ノ多少ニ憑據スルノ故アルヲ以テ各々競フテ
益々十分ナル準備ヲ保守セン一ニ^總ニタルベケレバ政府ガ或
レ一銀行ニ依托スレノ危險ハ應サニ最小ノ点ニマデ減スベケ
レハナリ蓋シ此ノ場合ニ當リテハ政府ハ數多銀行者ノ中ニ就
テ恰好ナル一銀行ヲ撰スル一ヲ得ベケレバ其ノ依托スベキ銀
行ヲ或レ一銀行ニ限レ一ヲ要セサレナリ
蓋シ之レカ手續タルヤ甚タ簡單ニシテ該國內ニ於ケル他ノ公
解ノ為ス所ト毫モ差異ナシトス例ヘバ倫敦ニ於テ年々大數ノ
歳入ヲ收集スル工業會議所ノ如キリ之レヲ以テロンドン、エ
ド、ウエスト、コンスト、銀行ニ預托シ之レカ担当トシテコンソ
ル、公債証ヲ出サシムルヲ常トス故ニ大藏卿ニシテ此ノ如キ

大藏卿ニシテ此ノ如キ

抵当ヲ得ント欲スレニ於テハ甚タ容易ナルヘシ若シ其ノ預托
スベキ金額ハ大ナルヲ以テ一個ノ銀行ニ附スルヲ過分ナリト
セハ之レヲ數銀行ニ分テスルモ可ナリ然レモ此ノ數銀行ハ
各々抵当ヲ出スカ故ニ一モ政府ニ取リテ危險ノ患ナラシ
シ又一時政府ノ庫中ニ大數ノ剩餘金アリテハ更ニ抵当物ヲ増サ
シメ以テ之レカ利息ヲ取得スルモ可ナリ此ノ如クナルハ政
府ハ銀行者ニ對シ自己ノ所好通りニ如何ノ約束ヲモ要求スル
ヲ得ヘキカ如キ巨大ニシテ且ツ大有力ナル債主タルベケレ
ハ若シ斯レ預托金ヲシテ常ニ安全ナラシムルヲ得ルモノト
スルハ政府ニアラスンハ誰レカ強ラシムルヲ得ンヤ
時トシテアル如ク若シ却テ大藏卿カ債主トナルノ場合ニ於テ
ハ其ノ需要スル所ノモノヲ得ンカ為メニ利便ヲ受クル又頗
大ナリトス蓋シ英國政府ノ信用ヲ世ニ得ルノ大ナルヤ之レヲ

世界中何レノ政府ト比スルモ更ニ之レニ優レルモノナシ然ラ
ハ則チ大藏卿カ募債上ニ於テ得ル所ノ利便ハ益々今日ヨリモ
優レルニ至ルベキハ必然ナリ何トナレハ現今ニ在リテハ大藏
卿ハ公會ノ認可ヲ經ザレバ(デフサ)シシル業スレキニ同
ク行スルモテヲ以テ英國銀行ヨリ債ヲ募ルノ外ハ(奪)リニ市
價ニ就テ債主ヲ求ムベカラザレハナリ然レニ自然ノ
組成ニ基クハ數多銀行ノ中ニ就キ最下ノ利息モテ借り入ル
、一ヲ得バキ一銀行ヲ撰ミ以テ之レヲ募ルヲ得ベキナレ
現時ノ如キ人為ノ組成ニ基ツクハ募債ノ事ヲ以テ單ナル一
銀行ニ限リ利息ノ如キハ素ヨリ其ノ需求ニ任セザレ得
ナリ
若シ意ハニ不景氣ヲ起スヲアルニ當リテハ曾テ本國政府カ
実行セシ例ニ倣フニ政府ハ其ノ預托ノ殘金ヲ銀行者等ヨリ引

出スヲ得ズ但ニ政府ハ一時之レニ助カヲ与フルモ可ナリ
又之レ其ノ大藏省券ヲ貸附スルモ可ナリ又或ハ之レニ政府
ノ信用ヲ依シ以テ之ニ保護スルモ可ナリ然リト云ハ斯ル急
急ノ起ルニ至ルハ必竟該銀行ノ管理具ノ宜キヲ得ザレニモ
ルノ結果ナレハ一旦此ノ危急ノ時期過キタル上ニテ之レヲシ
テ因厄ニ陥キラシムルハ寔ニ理ノ然ルベキモノトス此ノ時ニ
当リテ此ノ殷鑑ヲ取リテ新々ニ稍々恰好ナル他銀行ノ興起ス
レヲアルヤ必セリ是レ蓋シ他ノ商業ノ自然ニ於ケルト一般新
陳ノ去来良否ノ交代アルモノナレハナリ然リ而テ新設ノ諸銀
行ガ勦息トシテ確實ニ事務ヲ取扱ヒ政府ノ之レニ信用ヲ置
ニ適當ナリト見認ムベキ証尤ヲ見ハスニ至ラバ政府ハ乃チ彼
レヲ捨テ之レニ倍據セズンバアラサルナリ是レ政府ガ謹慎
慮ヲ以テ事ヲ處スルノ銀行ニ向ヒ其ノ賞トシテ恩惠ヲ与ヘ又

遠慮謹慎ヲ用ヒスシテ管事ヲ誤マレル銀行ニ向ヒ其ノ罰トシ
テ之レヲ恥トナスル所以ナリ
銀行ノ組成其ノ宜シキヲ得ル片ハ内乱外寇等ノ患害アルノ外
ハ次ニテ甚シキ不景氣ノ發生スルノナカルベシ何トナレバ諸
銀行ハ各々其ノ世上ニ信用ヲ得ルト得サルトハ偏ヘニ其ノ保
守スル在備ノ多クニ關係アルトヲ知レバケレハ蓋シ汲々トシ
テ之レカ措置ヲナサバハアラザレバナリ若シ夫レ或ル一個
ノ銀行ニシテ適當ナル準備ヲ保存セサルカ如キトアラバ該銀
行ハ常ニ世人ノ批評ヲ蒙リ忽チニシテ其ノ位置ヲ失ヒ終ニ消
滅ニ至ルベキヤ必熱ナリ故ニ諸銀行ハ一般ニ恐慌ノ起ル際
ニ優然之レニ處セサレバ得ザレバ大胆ニモ大ニ其ノ準備ヲ
ツテ自中貸ハシテ行ナフベシ何トナレハ諸銀行ハ各々世人ノ
已レヲ疑猜セントヲ忌ルハ故ニ其ノ有カナルヲ世人ニ知ラ

七歳習

レメンニハ則チ斯ノ危急ノ時際ニ当リテ之レヲ見ハサバ爾ヲ
得サルニキリ知レハナリ此ノ如キ組成ナル中ハ預托上ニ発起
スベキノ危険ヲシテ最ウノ点ニマテ減縮セシムベシ然レハ則
チ若レ一回ノ貨幣ヲ或レ安全ナル法方モテ諸銀行ニ預托スル
トラ得ルモノトセハ此ノ法方コリ特リ之レヲシテ安全ナラシ
ムレトヲ得ルモノナリト謂ツベキナリ
然リト虽レ上文ニ開陳スル所ノ組成ノ如キハ我カ英國ノ法律
及ヒ他ノ事情カ吾人ノ為メニ創立セシ所ノ組成ト殆ト相ヒ及
スルナリ抑モ英國政府ハ往時銀市ノ確固安全ナル地位ニ達セ
ルノ日ニ當リ時尚ホ早キノ故ヲ以テ各種ノ信用ノ甚タ危険ナ
リレニモ拘ハラス其ノ金匱ヲ以テ自カラ保持スルヲ止メ聊カ
自己ノ為メスル所アリテ妄リニ銀市ト相関涉スルニ至レ
則チ其ノ募債ノ都合ヲシテ一層便利ナラシメンカ為メニ(此

將權ヲモ差セテ其ノ金匱ノ看守差ニ利潤ヲ以テ之ヲ單ナル一
銀行ニ附シタルカ故實際上海上ヨリ之レヲ見ルキハ實ニ今日マテ
モ政府ハ銀行カ銀行ハ政府ナルカヲ判然辨知シ難キモノアリ
是レ蓋シ政府ハ該銀市ニ莫大ノ金匱ヲ預托シタレハ若シ万一
之レニ損スルトアルニ於テハ忍テ諸抄ニ差支ヲ生スルハ必懸
ナルヲ以テ一関涉ヲモ用サズ獨リ銀市ヲシテ自カラ反省セシ
ムルノ能ハザルニ由リテナリ
又英國ノ政事家ハ英國銀行ノ権限ヲ縮サスルノ意見ヲ陳出セ
サルベシ理論家ノ如キハ或ハ新聞紙上等ニ於テ斯ノ如キ論說
ヲ開陳スルトアルベシト虽レ責任アル政府ニテハ之ノ如キ想
スルトダモナカルベシ則チ彼ノ一千八百二十五年ニ於テ該銀
行ノ金匱空立ナリシ時際及ヒ一千八百三十七年ニ於テ該銀行
カ佛國銀行ニ依頼シテ其ノ補助ヲ仰キシ時際ノ如ク該銀行カ困

危ノ極点ニ際シテ最モ其ノ管理ノ宜キヲ決セシ時際ニ於テス
ラ毫モ政府ノ思考ノ此ニ及ヒシヲナカリシヲ以テ之レヲ知ル
ベシ蓋シ英國政府カ其ノ金匱ヲ該銀市ニ就キ此ノ一種特別
ル英國銀行ニ預托スルモノ、全ク從來ノ習慣止ムヲ是ザレニ
出ツルナリ

此ノ組成ノ如キハ明ラカニ甚シキ弊害ノ屬スルモノ四アリ之
レヲ左ニ論セン

第一 此ノ組成ハ政府ノ力ニ依テ以テ成レルモノナルニヨ
リ之レヲ自然ノ組成ト比スレハ更ニ政府ノ救助ヲ仰
クイ多シ

第二 此ノ組成ハ則チ「ウカレゼルウセス」ニテハ準備ヲ一ニス
ハ之レヲ他ノ組成ニ比スレハ殊ニ銀市ノ剩金備在
義ヲ減小シ從テ該銀市ヲ一層脆弱ニシ之レヲシテ後

々々ル一小事件ニ觸ル、一アルモ忽チ土崩瓦解ニ至
リニ免カレザラシムルモノアリ是レ他ナシ其ノ準備
額ノ小ナルヲ以テ其ノ負債ヲ贖フニ足ラザルベキニ
ヨリ之レガ取扱ヲ誤マルカ如キ一テハ其ノ關係ス
ル所ハ其ノ割合ヨリモ幾倍カ大ナルニ由テナリ

第三 我ガ「ウカレゼルウセス」ニテハ事情止ムヲ得ザ
ルヨリ銀行準備ヲ以テ一ノ衆人配人尙ニ依托スルガ
故ニ我輩ハ特リ此ノ一尙ノ智愚ニ是レ憑據シテ他ノ
諸商賣ニ於ケルト一般多數競争者ノ中ニ就テ其ノ智
愚及ヒ淺見遠慮ノ平均ヲ取り以テ之レヲ計較スルコ
能ハズ

第四 一般人民ハ該銀行カ巨大ノ準備ヲ保存センコトヲ必要
トス不ニモ拘ハズ該衆支配人尙ハ自他ノ支配人尙

ト一叙其ノ概主ニヨリテ割賦金ノ多カラントテ極望
セラレ、カ爲メニ止ムヲ得スシテツ數ノ準備ヲ依
守スレニ至ル
右四條ノ弊害ハ此ノ組成ニ於テ免カレバカラザルモ
其ノ弊害獨リ此ニ止マテズシテ尚ホ加フルニ不時ノ弊害ア
リ何トナレバ英國政府ハ當ニ此ノ一種特別ナル組成ヲ創立セ
シノミナラス益々之レヲ修飾シ之レニ関スル輿論ヲシテ罷給
セラル、ニ至ラシメタルバナリ但シ英國銀行ハ其ノ創立以後
百有餘年ノ間時アリテ其ノ管理ヲ誤マリシハアリタレト大
駭上ヨリ之レヲ見ルハ莫ニ練熟セル判断ト注意トヲ以テ罷
勉セシカ故其ノ事啓ノ如キハ今僅ニ之レヲ枚挙スル所ノモノ
タレト之レヲ取扱フニ至リテハ常ニ先見遠慮ヲ以テセシ
ルベキナリ之レヲ要スルニ一千六百六十六年ニ於テ該銀行ノ

最モ劇烈ナル困難ニ値遇シテ余義ナクモ其ノ終弊ノ仕掛ヲ差
止メザルニ付ズシテ之レヲ差止メタル故ヲ以テ永年ノ間輿論
ガ該銀行ヲ恐懼スルノ有様ナリシニヨリ該銀行ハ世上ノ信ヲ
保テ之レヲ大ナハザランガ爲メニ頗ル其ノ管理上ニ付テ萬事
ニ謹慎ヲ旨トシタリ然レニ英國政府ハ其ノ緊要事タルニモ拘
ハラズ該銀行ヲシテ其ノ管理上謹慎ヲ旨トスルヲ得ザラシ
ヨリ則チ一千七百九十七年ニ於テ「ビツ」ト君ハ該銀行準備ノ小
額ナルカ爲メ外國債ノ仕掛ニ向ヒ十分ナル正金ヲ得ベカラザ
ルヲ恐レテ正金仕掛ヲ差止メ以テ諸銀行ノ最善ナル抵当トモ
云フベキ危險ヲ恐レ、ノ念慮ヲ戒殺シタリキ
此ノ如キハ故ヲ以テ英國銀行ガ其ノ発行紙幣交換トシテ正金
ヲ仕掛ハザリシ時期（即チ一千七百九十七年乃至一千八百十九
年）ノ時期ヲ稱シテ常ニ英國銀行制限ノ時期ト云フ又該銀行

ハ此ノ時期、可正金モテ、ノ発行紙幣ヲ交換スベキノ約束ヲ
守ラズ且ツ法律モ強之レヲ守ラシメザリシガ故ニ或ハ此ノ
時期ヲ称ニテ英國銀行特許ノ時期ト云フ是レ能ク其ノ頭像ヲ
穿テリト云フベシ、金凡制限ノ語コソ真ニ的中スレトニ
テ且ツ一千八百九十七年ノ策略ヲ明示センニハ此語ヲ指テ亦
他ニアルヲ知ラザレナリ見ルベシ、ピツト君ハ此ノ時ニ當リ英
國銀行ニ向ツテ其ノ発行紙幣ヲ強テ正金ト交換スレニハ及バ
ストハ言ハスレテ審カニ之レカ交換ヲ制限シ則チ正金交換ヲ
ナスベカラズト言ヘリ

斯ノ如クナリシカ故ニ一千七百九十七年ヨリ一千八百四十
年(即チ銀行ノ一面目ヲ改メタルノ年)ニ至ルマテ該銀行衆支配
人ハ其ノ業務管理ノ際毫モ適切ナレ注意ヲナサバリシヤ明
カナリ蓋シ其ノ心ニ謂ヘラク英國銀行ノ現存セル愉快ノ有様

ハ人ヲシテ懋々ノ情ヲ起サシムベシ此ノ銀行ノ常ニ他ノ銀行
ガ其ノ仕掛ニ付テ苦慮セルカ如クナラズト此ノ感情アルハ司
ヨリ自然ニ出ツルト云フベシ九ノ紙幣発行銀行ニシテ之レガ
正金仕掛ヲナスニ及バザレアラバ其ノ有様ノ愉快ナルヲ見テ
懋々ノ情ヲ起サバシムモノハ未タ曾テ之レアラザレバシ柯トナ
レハ其ノ欲スレ所ニ任セテ之レヲ貸附シ其ノ願フ所ニ從ツテ
之レヲ発行スルヲ得レバナリ死ヤ斯ノ如キモ更ニ自カラ危
害ニ陥ルルノ患ナク又自己ノ好惡ノ外ハ更ニ之レヲ鉗制スル
モノアラザレニ於テオヤ冥ニ英國銀行ハ殆ト二十五年ノ間斯
ル愉快ナリ有様ノ銀行ナリ、則チ此ノ時期中該銀行ノ一モ危
害ノ患ヲ慮ハカレヲ要セザリシナリ然リ而シテ上ノ人心モ漸
ク之レニ馴レテ亦之レヲ怪シムモノナキニ至レリ故ニ一千七
百九十七年以テ後世人ノ常ノ期ニテ思ヘラク止ムヲ得サルノ場

レニ当ラバ政司ハ該銀行ヲ補助スルナルベシト信テ我輩ハ一
千八百四十七年一千八百五十七年及ヒ一千八百六十六年ニ於
テ彼ノ一千八百四十四年ノ條例ヲ爲シ屬セシメタルハ如何
ナル所以ナルカラ十分ニ論議スルヲ得スト云々然レモ其ノ結
果ノ一タレヤ無論立人ヲシテ政府ハ英國銀行ノ非常ヲ告クル
ノ場合ニ當ラハ必ス該銀行ヲ補助スベキナリトマデニ思考セ
シメタリ而シテ此ノ思考タル決シテ妄想ニ出ツルニアラザルナ
リ
是故ニ結句大藏卿カ我カ銀市ニ於ケルノ地位ヲ論スレバ該卿
ハ則チ大ニ該銀市ニ預托ヲナシ又之レヲ創起シ又之レカ自
ノ凡儀ヲ破壊セシ所ノ地位ニ居ルナリ故ニ大藏卿ハ該銀市ヲ
以テ其ノ思想ノ外ニ置キ或ハ該銀市ニ於ケルノ責任ヲ辭スル
一能ハザレハ務メテ銀市ノ恐慌ヲ強大ニ至ラシメスシテ之

ヲ減殺スル様ニ其ノ會計ノ都合ヲ調停セサレテ得ス又該卿ハ
英國銀行ノ業務ヲ妨礙セシメテ務メテ之レヲ補助セザル可
ラス
大藏卿ノ補助タルヤ該銀市ノ爲メニ甚ク有切ナルモノアリ蓋
シ銀行事業ノ自然ノ組成ニ在リテハ各々自己ノ利害ニ凭據シ
テ以テ事ヲ行フモノナルカ故ニ敢テ慮カルニ足ラザレバ政府
一旦之レヲ妨礙シタレハ今ヤ英國銀行ノ誘導スル所ノモノハ
唯ニ輿論ノ如何ニ因ルノミ何トナレハ該銀行支配人ノ褒貶ハ
全ク輿論ノ賞讃ト嫌惡トニ因ルモノナレバナリ然リ而シテ大藏
卿ハ會計ニ於テ其カラ英國輿論ノ誘導者タレハ該卿ハ公明
善良ナル誘導者タルベキハ最モ緊要事トスル所ナリ

大藏卿

龍坂見徳街論 第五編

龍坂見徳街ニ於テ貨幣ノ價ヲ一定スル有様ヲ論ス
 世人多クハ謂ヘテク英國銀行ハ貨幣ノ價ヲシテ高抵セシムル
 特別ノ権力ヲ有セリト是レ蓋シ英國銀行ノ始終間断ナク割列
 ノ割合ヲ高抵スレハハ自餘ノ銀行ハ全ク其ノ尾ニ附キ該銀行
 ニ於テ其ノ割合ヲ高クスルハ亦高クシ抵クスレハ亦抵ク
 スルヲ觀察シ何等ノ理由アリテ其ノ然レヲ致スヤニ付キ大ニ
 疑惑ヲ懷キ曰ク經濟學士ノ言ノ如ク貨幣ハ一種ノ物品ニシテ
 即チ物品ノ一種タルノ外ニ出テサルモノナレバ何ノ理由アリ
 テ獨リ貨幣ノ價ニ限リ斯ル奇異ノ方法ニ固リテ一定セラレ
 餘萬種物品ノ價ニ一定セラル、ノ例ニ同シカラサルヤト
 然リト雖此ノ事ニ付テハ高モ解スルニ難キ所アラサルナリ
 抑々貨幣ノ價ニ自餘萬種物品ノ價ト一般ニシテ其ノ需要ト供

給トニ因リテ定ムル者ナレバ但其ノ有様ニ大差異アリトス總
テ自餘ノ物品ハ大商等自己ノ賣買スベキ價ヲ定メ互ニ争フノ
抵價ヲ以テ之レヲ賣却セント欲スルヤ價乃チ降り競フテ高價
ヲ以テ買取セント欲スルヤ價乃チ昇ル畢竟「アダムスミス氏」
所謂「賣丁ト買手トノ間ニ」ヒツクリンノ價値ヲ争フレモノ
アリテ之レヲ定ムルナリ尤モ此ノ方法タル商賣取引上最モ簡
短ニシテ且ツ自然ニ出ツルモノナリ然レバ獨リ此ノ方法ニ止
マラス時ノ都合ニ因リテハ之レヲ定ムルニ他ノ方法ニ由ル
アリ一個ノ大貸主若シ他ノ貸主等ニ超越セル「數等ナル大貸
主ニ於テハ尤モ然リ」自カラ其ノ賣買スベキ物品ノ價ヲ定ムル
「アリ而シテ他ノ小貸主等ハ強テ大貸主カ定メタル價ニ從フ
ヲ用ヒス之レヨリ價ヲ低フシテ賣ルモ又高クシテ賣ルモノ
各自銘々ノ便宜ニ任セリ去レバ一種ノ物品ヲ多量ニ仕入ル

大貸主ニシテ若シ其ノ得ント欲スル所ノ價ヲ定メ之レニ固着
シテ少シモ動カサルハ一時ハ忍テ大ニ其ノ物價上ニ影響ヲ
與フル「ヲ得ベシ夫ノ龍拔兎德街ニ於テ貨幣ノ價ヲ定ムルノ
有様ハ毫モ之レニ異ナレトナシ則チ英國銀行ハ從來之レヲ管
理スルノ權ヲ掌握シ今日ニアリテモ尚ホ最モ大ナル貨幣商人
ノ地位ニ居ルカ故ニ該銀行ニ於テ其ノ資本ヲ運用センガ為メ
ニ自カラ其ノ價ヲ定ムルニ當リ他ノ小ナル貨幣商人即チ銀行
者ヲ云フ
等ハ皆「之レカ尾ニ附キ其ノ價ヲ同一ニシ或ハ殆ト同一ニス
ルモノナリ」
斯ノ如クナルモノ其ノ理甚タ觀易シ龍拔兎德街ニ繋集ル者
所ノ為「換手形ノ割引ヲナサンニ」英國銀行ヨリ若干額ノ貨幣
ヲ引出スニアラサレヨリハ決シテ之レニ應スルノ貨幣龍拔兎
德街ニ十分ナニサレ「其ノ常ナレハ該銀行ノ割引ノ割合定マ

ルヤ否ヤ割引スベキ為換手形ヲ所持スル所ノ人々ハ東奔西走
シテ該銀行ノ割引ニリモ低價ニテ割引セントラ試ムルナリ
レ氏此輩ハ該銀行ノ割合ヨリモ低價ニテ割引スルヲ得ルヤ
ルハ甚々稀レナレニ何トナレバ若シ此輩ニシテ該銀行ノ割
合ヨリモ低價ニテ他所ニ於テ割引スルヲ得ルキハ是人皆ナ
該銀行ヲ去テ他ノ低價ニテ割引シ得ル所ニ集マルベケレバ外
市場ニ集マル所ノ手形相嵩ミテ其ノ堪ヘ得サレ程ノ大額ニ至
レベケレバナリ

該銀行執業ノ實際ヲ觀ルニ一旦古ノ景況英國銀行ヲ去リ他ノ割引
ノ趨クヲムフヲ現出シ該銀行ニ未リテ割引ヲ乞フモノ漸ク減
少スルヲ見出スニ於テハ忽チ其ノ割合ヲ低下シ以テ其ノ營業
ヲニテ寒寂ナラシメ且ツ其ノ受托金中適宜ノ部分ヲ運用セ
シトラ射ムルナリ蓋シ和蘭競賣ニテハ賣手先ツ其ノ物出賣價

15

ノ定ノ買手ノ出テ来ルマテ漸々ニ其ノ價低下スルヲ常トス能
振見徳街ニ於テ貨幣ノ價ヲ定ムルモ亦殆ト之レト同様ナリト
ス但異ナル所アルモノハ其ノ賣價總賣手ノ賣價ニアラズシテ
一個ノ甚々大有力ナル賣手其ノ供給中ノ若干部分ヲ賣ラント
要スルカ為メノ賣價ナルノミ
是レニ由テ之レヲ觀レハ英國銀行ハ銀市ヲ支配スルノ專權ヲ
有シ且ツ其ノ意ニ任セ割引ノ割合ヲシテ恣ニ高低セシム
ルヲ得ルトノ説ヲナスモノハ嘗テ一千八百四十四年前該銀
行が其ノ意ニ任セ何程ノ巨額ニテモ勝手ニ紙幣ヲ発行スル
ヲ得タリシ在昔ニ溯リテ起ス所ノ思惑ニ過キズ然リト雖モ假
令ニ當時ニ在リテモ猶ホ斯ノ如キ思惑ヲ起スハ誤マレシモノ
ト云ハサルヲ得ス何トナハ紙幣発行ノ專權ヲ有セル一箇
銀行ハ銀市ニ臨テ一時ニ在リテ其ノ権力ヲ永續スル

一ナシ即チ或ハ格段トシテ時ノ間ハ割引ノ割合ニ影響ヲ及ボ
スヲ得レド之レノ平均ノ割合ニ及ボスヲ得サレハナリ也
シテ然ラハ斯レ銀行ノ輕劇ニ出テタル一時ノ貨幣ノ下落ハ恐
ク又反應ノ弊ニテ自然ニ大ニ其ノ騰貴ヲ致スモノナレハ到底
高下セシ價ヲ平均スレハハ少シモ前日無事ノ時ノ價ト變化ア
ルヲナカレズシ

之レヲ評説センニ若シ紙幣発行ノ專權ヲ有セル一個ノ銀行卒
カニ通常貸付ケ未リシ所ノ額ヨリ外ニ二百万封度ノ巨額ヲ増
發シテ之レヲ貸付ケたらシハ恐ク之レト同比例ノ割合ヲ以
テ商賣ノ増進ト物價ノ騰貴トヲ俟セテ引起スベシ何トナレバ
此ノ二百万封度ヲ借り受ケタル人々ハ空シク自家ノ金庫中ニ
鎖閉シ置カンカ為メニ借受ケタルニアラズ必スヤ市場ノ通語
ノ如ク運用センカ為メナルベシレバ之レヲ以テ物品ヲ買収セ

12
16

一ヲ企ツルハ疑ヲ容ルベカラズ而メ新タニ物品ヲ買収セン
トスルノ企即チ新タニ起ルノ需要ハ必ス物價ノ騰貴ヲ未タス
ノ理ナレハナリ然リ而メ此ノ物價ノ騰貴ヨリ生シ未ルノ結果
三アリ

第一 物價騰貴ノ日ニ至リテハ人々皆テ貨幣ヲ借り入レン
テ渴望スベシ何トナレバ貨幣ノ價低下セルヲ以テ物品ヲ買収
スルニ前日ト同様ノ能力ヲ有セス是ヲ以テ運用者商人ヲハ前
日ト同様ニ商買ヲナサンニハ前日ヨリ多額ノ貨幣ヲ要スレバ
ナリ故ニ若シ本年鐵道株券ノ相庭昨半ニ比シテ一割ノ騰貴ナ
ルハ投機者ハ固ニ以テ其ノ業ヲ當テム所ノ資本ヲ昨半ヨリ
モ本年ハ一割大ニ過量ノ借り入レヲ為サバズ得ズ隨テ借金
ノ需要大ニ増加スハシ

第二 此ノ需要ハ又他ノ需要ヲ起スノ原トナレズレ何トナレ

ハ鉄道株券ノ價騰貴スル之レヲ以テ抵當トナシ貨幣ヲ借り
入レシト欲スルノヘヲシテ前日ヨリ多額ヲ借ルヲ得セシ
レバナリ蓋シ此ノ慣習ニ據リ斯レ抵當ヲ以テ貨幣ヲ借り入
レトスルハ其ノ市價ノ若干部分大テ借受スルヲ得ルモ
ノナレバ若シ其ノ市價騰貴スルハ之レヲ抵當トシテ借り得
ル所ノ額モ亦随テ増加スベシ夫レ斯ノ如クナレバ人ノ誤ケテ
以テ貨幣ノ價ヲ下落セシムルハ乃チ新テニ貨幣ノ需要ヲ増
加セサルヲ得ズレテ為メニ其ノ價自然ノ平準ニ復歸スレナリ
凡ソ此ノ理ハ商賣上実地經驗ニ因リテ既ニ明々瞭々タルモ
ニシテ則チ無理ニ高低セシメタル相庭ハ速カニ復タ緊着ノ相
庭トナルモノナリ何トナレバ救機者ノ常トシテ一時因ラサル
ノ利ヲ得テ快意ヲ覺フルヤ貧乏ノ心弥々尤進シ益々射利ノ技
ヲ逞フセント欲シテ遂ニ其ノ力ニ過クル程ノ大金額ヲ要スル

12
17

至ルマテ救機ヲナシ曉ラザルモノナレバナリ
前述ノニ結果ニ因リテ既ニ紙幣発行者カ卒カニ巨額ノ貸付ケ
ヲ行ナフニ當リテハ一時ハ大ニ貨幣ノ價ヲシテ下落セシムル
ヲ得レ氏決シテ此ノ低價ヲシテ永ク保續セシムルヲ得ザル
明ラカナリ然リ而メ此ノ理ハ発行セラレタル紙幣カ正金ト交
換セラルト否トニ拘ハラズ總テ同シカラサルヲ得ス曾テ英
國銀行ニ於テ一千七百九十七年ヨリ一千八百十九年マテ紙幣
交換ヲ中止セシ間ハ一千八百十九年ニ至リテ更ニ其ノ交換ヲ
行ナセシ後チニ於ケル如ク專ラ銀市ヲ支配スルヲ得サリキ
然リト雖正金ニ兌換スベキ紙幣ノ場合ニ在リテハ茲ニ至
ノ關係アリ其ノ成派ハ不交換紙幣ト同様ナレ氏其ノ働キニ至
リテハ尚ホ之レヨリモ迅速ナリ則チ物價ノ騰貴一回ニ及ル
ハ頻りに貨物ノ輸入ヲ増ハスルニ至ルベシ然レ所ハ自他ノ

國より其ノ産出スル所ノ貨物ヲ此ノ國ニ輸入スルハ一層高
價ヲ得ベケレバナリ而テ又之レカ為テニ貨物ノ輸出衰フミ
然レ所以ハ未ク物價ノ騰貴ニ至ラサル前ハ此ノ國ニ於テ貨物
ヲ買入レ之レヲ他國ニ輸送シ以テ利益ヲ得タリシナレバ物價
騰貴ノ後チハ前日ニ於ケルカ如ク(假令ニ少クハアレモセヨ)
十分ノ利潤ヲ得ルヲ能ハサレバナリ且ツヤ斯ノ如ク輸入貿易
ノ増加スレバ此ノ國ノ負債隨テ増加スベシ又斯ノ如ク輸出
貿易衰耗スレバハ通常ノ償却法ノ輸出ノ物價ヲ以テ輸入ニテ負
債ヲ償却スル所ノ割合モ亦隨テ減少スベシ果シテ然ラバ此
償却ニ充ツルニ金銀地金ヲ以テスルノ額前日ヨリ多キヲ加フ
ルニ至ルベシ此ノ時ニ當リテハ銀行ニ保有セル準備金ノ額ハ
漸ク減耗ヲ告ケ銀行ハ己ムヲ得ス金銀ノ流出ヲ防クセンカ爲
メニ金利ノ割合ヲ騰上セシメザルヲ得サルナリ斯ノ如クシテ

12
18

以テ未レ所ノ緊着ハ前キノ自然ニ出テザル弛緩ノ勢ト常ニ
同様ニシテ又長々之レヨリモ一層甚クシキトアリ
前段ニ於テ逐次論述シ未レカ如クナレバ貨幣ノ復ハ世人ノ喜
想セルカ如ク自餘ノ貨物ノ價ヲ高低セシムルノ原因ト同シカ
ラサル一種ノ原因アリテ之レヲ定ムルモノニシテ即チ英國銀
行ノ如キハ貨幣ノ價ヲ定ムル獨專權ヲ有スルトノ説ハ到底信
聽スベキノ言ナラザルヤ明ラカナリ蓋シ英國銀行ハ大ナル貨
幣持者タルノ權カヲ有スルノミ然リ而テ曩キニ該銀行ノ貨幣
ノ權カ今日ニ於ケルヨリ一層宏大ニシテ且ツ其ノ競爭者ノ勢
今日ニ於ケルヨリ甚ク微弱ナリシ時スラ猶ホ該銀行ハ銀中ニ
立テ專ラニ之レヲ支配スルヲ得サリキ是レニ由テ之レヲ觀
レ該銀行ハ單ニ一大貨幣商人會社タルニ過キスレテ其ノ評
價ヲナスニ當リテハ甚ク抑壓スルニハアテザレシニ大ニ

他ノ貨幣商人ニ影響ヲ被ルヲシムル所アリシノ
貨幣ノ價ノ由テ是レ原ハ前日ノ理由ノ外ニ出テスト至之
レニ拘ハラズ物種ノ物品中ニ就テ特ニ貨幣ハ一種固有ノ性質
ヲ有シ其ノ價大ニ浮沈シ易キ物品ナリ此ノ浮沈タラバ僅カニ
其ノ數量ニ過欠アレハ忽チ發生シ来ルナリ夫レ貨幣ノ或ル点
ニマテ必要ノモノナレハ若シ一商人明日ノ請求ニ應スベキ請
込ヲナシタランニハ今日中ニ必ス何程カノ價ヲ以テ貨幣ヲ買
入レサルベカラズ而シテ若シ商人等悉ク斯ノ如ク緊急逼迫ナル
貨幣ノ入用ヲ訴フル中ニ當リテハ其ノ價漸ク騰貴シ竟ニハ六
ニ驚怖スベキ高價ニ達スルナリ又之レニ反シ貨幣ノ價速カニ
下落シ恰モ瓦礫ノ如ク忽チ市場ニ充滿スルヲアリ斯ノ如キニ
當リテハ請込マレタル手形類ノ數甚タ寡少ニシテ又速カニ其
ノ數増加スレテ能ハス若シ貨幣餘リ在リテ請込マレタル手形

ニ
19

ノ七ノ五ツ此類ノ手形ノ為メニ貸付クモ尚ホ餘リアレニ於
テハ貨幣ノ價ノ速カニ下落スルモノナリ世人屢々銀市ニ於テ
手形素ヨリ善良ナル手形ヲ指スヲ買ヒ得ルヲ能ハストノ語ヲ
聞クヲアラン而シテ此ノ世人ノ聞竅ニ入ルヲアルハ極メテ貨
幣ノ價甚タ低下シタルノ時ナリ
若シ貨幣全ク其ノ所有主ノ手中ニ在テ貯藏セラル、カ又ハ受
托金ニ向ヒ利息ヲ拂ハサル所ノ銀行ニ固リテ保有セラル、ニ
於テハ貨幣ノ價急卒ニ下落スルヲアラサレベシ斯ノ如キ時ニ
當リテハ銀市ノ通語ニテ「能ク保有セラルト云フ何トナレバ該
所有者等ハ必ス長シテ所有貨幣ノ金額ヲ悉ク運用スルヲ要
スルニアラサレバ利息ノ割合ヲ低クシテ強ク其ノ金額ヲ運
用センヨリハ寧ロ割合ヲ高クシテ其ノ若干部分ヲ運用スルヲ
以テナリ然リト雖モ龍坂先徳街ニ於テハ巨額ノ貸付利息ヲ并

フ所ノ人ノ手裏ニ保有セラル、ガ故ニ好ノ如キ之レカ全
額ニシテハ殆ト其ノ全額ヲ常ニ運用セサルヲ得ス何トナレバ
一方ニ向ヒ巨額ノ利息ヲ得ハザレバ以テ他方ヨリ之
レニ應スルノ巨額ヲ收入シ出入相ヒ償フニ足ラサレバ竟ニ元
解合産ヲ免カレベカラザレバナリ然リ而テ斯ノ如キ人等ハ其
ノ他ヨリ収入シ得レ所ノ割合ニ從ヒ其ノ抽出ス所ノ利息ヲ減
少スルヲ得ルカ故ニ其ノ所有金ヲ運用スルニ當リテハ利息
ノ割合ノ高低ニ甚メ關係注意スレトナシ只此輩ハ或レ割合ニ
テ之レヲ運用センヲ以テ眼目トナスノミ若シ龍坂見徳街
於テ或レ人が為ス如ク人アリ利息付キニテ他人ノ貨幣數百萬
ヲ寄托セラル、ニ當リ假令ヒ之レニ掛フ所ノ利息、割合何程
低賤ナルモ徒ラニ之レヲ閑却セシメテ運用セサルニ於テハ忍
不官數上ニ其ノ分散ノ期ヲ明示スベシ

12
20

是レ故ニ貨幣ノ價ニ於ケルノ浮沈ハ自餘萬種物品ノ價ニ於ケ
ルノ浮沈ヨリ又一層烈シク且ツ大ナリトス何トナレバ時トシ
テハ之レヲ借ランガ為メニ非常ノ壓力ヲ起シ又時トシテ之ヲ
貸リンカ為メニ非常ノ壓力ヲ起スモノナレハ為メニ其ノ價魚
理ニ推上セラレ又ハ無理ニ壓下セラレ、トアレバナリ
右ノ如ク論述シ来リテ之レヲ熟考スレハ我輩ハ我カ英國ノ仕
組ニ因リテハ英國銀行ニ向ヒ又他ノ各仕組ニ因リテハ金銀地
金又ハ金銀地金ニ交換スベキ合法貨幣ノ準備ヲ保有スル銀行
ニ向ヒ莫ハシムル所ノ責任ヲ豫メ考定スレトヲ得ベシ蓋シ是
等ノ銀行ハ甚モ貨幣ノ永久ノ價ヲ支配スルヲ得、レモ十分
ニ其ノ一時ノ價ヲ支配スレトヲ得又平均ノ價ヲ變改スレト
得、レモ其ノ平均ノ價ヨリ上下スルヲ得ルナリ故ニ若シ是
等ノ專權ヲ有スル銀行ニ於テ其ノ管理ノ法宜クニ於テ

ハ或ル時ハ利息ノ割合非常ニ上リ或ル時ハ非
客定ニ勝テ言フベカラサルベシ然リト虽モ是等ノ銀行
其ノ管理ノ法宜キヲ得ルキハ利息ノ割合常ニ平準ノ割合ヨリ
甚タレキ差異ナラズシ即チ余リ高クモ騰上セス余リ低ク
モ下落セナルベシ而シテ凡常ノ物岳ノ價ノ確実ナルヲ得ルカ
如クニ貨幣ノ價モ亦確実ナレヲ得又貨幣ノ價ノ確実ナル片
ハ随テ貿易モ亦宛ノテ確実ナルベシ斯ノ如クナル時ハ時期ヲ
定メテ巡回發生シ未レ所ノ變動混乱ノ原因ノ如キハ遂ニ消散
シ去リテ全ク地ヲ掃フニ至ルベキナリ

